



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年5月13日
上場取引所 東

上場会社名 ヤマハ発動機株式会社
コード番号 7272 URL <http://global.yamaha-motor.com/jp/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 弘之
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 松下 貴彦 TEL 0538-32-1103
四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	358,692	9.5	22,056	59.0	22,935	71.4	14,725	98.4
25年12月期第1四半期	327,576	3.7	13,868	11.6	13,381	△21.3	7,422	△35.6

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 11,745百万円 (△67.1%) 25年12月期第1四半期 35,749百万円 (1.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	42.18	42.18
25年12月期第1四半期	21.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,185,250	425,752	32.8
25年12月期	1,146,591	422,792	33.5

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 388,824百万円 25年12月期 383,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	10.00	—	16.00	26.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期（予想）	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成26年12月期の配当予想は、下記の通期連結業績予想より配当性向(連結)20%を基準に算出しています。

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500,000	6.3	75,000	36.0	77,000	28.1	45,000	2.1	128.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	349,803,684株	25年12月期	349,803,684株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	669,473株	25年12月期	669,056株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	349,134,421株	25年12月期1Q	349,092,220株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的であると判断した見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経営環境の変化、市場の需要動向、為替の変動等のリスク、不確実性等の要因により、大きく異なる可能性があります。リスク、不確実性等の要因に関する詳細は、当社の第79期有価証券報告書（平成26年3月26日提出）に記載しています。また、業績予想に関しては添付資料5ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載のとおりです。

(2) 当社は以下のとおり四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料などは、開催後速やかに当社ホームページに掲載します。

・平成26年5月13日（火）・・・・・・機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

(3) 文章中における億円単位の表示は、億円未満を四捨五入しています。

○添付資料の目次

《売上高のセグメント別情報》	2
1 当四半期決算に関する定性的情報	3
(1) 経営成績に関する説明	3
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) キャッシュ・フローに関する説明	5
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結貸借対照表関係)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(参考情報)	13

《売上高のセグメント別情報》

(単位：千台、百万円)

セグメント		前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)			当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)			
		数量	金額	構成比 %	数量	金額	構成比 %	
合計	日本	—	33,271	10.2	—	43,512	12.1	
	海外	—	294,304	89.8	—	315,180	87.9	
	地域別内訳	北米	—	54,920	16.8	—	67,561	18.8
		欧州	—	35,639	10.9	—	45,624	12.7
		アジア	—	157,053	47.9	—	149,756	41.8
		その他	—	46,691	14.2	—	52,238	14.6
	計	—	327,576	100.0	—	358,692	100.0	
二輪車	日本	28	8,824	4.0	38	12,053	5.3	
	海外	1,442	210,653	96.0	1,351	213,459	94.7	
	地域別内訳	北米	18	11,278	5.1	19	12,760	5.7
		欧州	36	19,595	8.9	43	28,002	12.4
		アジア	1,268	150,397	68.5	1,153	139,252	61.7
		その他	121	29,382	13.5	135	33,443	14.9
	計	1,470	219,478	67.0	1,389	225,512	62.9	
マリン	日本	—	5,563	9.4	—	7,235	10.2	
	海外	—	53,578	90.6	—	63,884	89.8	
	地域別内訳	北米	—	31,186	52.7	—	37,762	53.1
		欧州	—	9,746	16.5	—	11,443	16.1
		アジア	—	2,240	3.8	—	3,220	4.5
		その他	—	10,404	17.6	—	11,458	16.1
	計	—	59,141	18.1	—	71,120	19.8	
特機	日本	—	2,928	12.1	—	4,548	15.2	
	海外	—	21,301	87.9	—	25,376	84.8	
	地域別内訳	北米	—	12,113	50.0	—	16,716	55.9
		欧州	—	5,011	20.7	—	4,617	15.4
		アジア	—	1,729	7.1	—	1,799	6.0
		その他	—	2,446	10.1	—	2,242	7.5
	計	—	24,230	7.4	—	29,924	8.3	
産業用機械・ロボット	日本	—	2,709	44.7	—	3,555	37.1	
	海外	—	3,358	55.3	—	6,034	62.9	
	地域別内訳	北米	—	341	5.6	—	322	3.4
		欧州	—	848	14.0	—	916	9.6
		アジア	—	2,120	34.9	—	4,566	47.6
		その他	—	48	0.8	—	229	2.3
	計	—	6,067	1.9	—	9,589	2.7	
その他	日本	—	13,245	71.0	—	16,119	71.5	
	海外	—	5,412	29.0	—	6,425	28.5	
	地域別内訳	北米	—	0	0.0	—	0	0.0
		欧州	—	436	2.3	—	643	2.9
		アジア	—	565	3.0	—	917	4.1
		その他	—	4,409	23.7	—	4,864	21.5
	計	—	18,658	5.6	—	22,544	6.3	

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は3,587億円（前年同期比311億円・9.5%増加）となりました。販売台数は、先進国向け二輪車や船外機、産業用機械・ロボットや電動アシスト自転車などで前年同期比増加し、全ての事業セグメントで増収となりました。

営業利益は、主に先進国二輪車やマリンの販売増加による利益増加に加え、コストダウンの進捗により221億円（同82億円・59.0%増加）となりました。また、経常利益は229億円（同96億円・71.4%増加）、四半期純利益は147億円（同73億円・98.4%増加）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替換算レートは米ドル103円（同11円の円安）、ユーロ141円（同19円の円安）でした。

セグメント別の概況

〔二輪車〕

二輪車事業全体では、売上高2,255億円（前年同期比60億円・2.7%増加）、営業利益38億円（同8億円・27.4%増加）となりました。

先進国の販売台数は、「BOLT」「MTシリーズ」「マジスティS」などの新商品効果により、前年同期を上回る水準となりました。

新興国の販売台数は、インドで「Cygnus α」、ブラジルで「YS150」「XTZ150S」などの新商品効果により増加、インドネシアでは需要が底堅く推移して前年並みの販売となりました。一方、景気減速により総需要減少が続くベトナム・タイでは減少しました。

営業利益は、先進国・インド・ブラジルの販売台数増加、先進国通貨の円安効果、コストダウンなどが、一部新興国の通貨安影響やベトナム・タイの販売台数減少による利益の減少を吸収し増益となりました。

〔マリン〕

マリン事業全体では、売上高711億円（前年同期比120億円・20.3%増加）、営業利益134億円（同31億円・29.7%増加）となりました。

特に北米船外機市場で販売が増加したことに加え、大型モデルの販売比率の上昇、操船制御システム「ヘルム・マスター」など周辺機器の販売増加などもあり増収・増益となりました。

〔特機〕

特機事業全体では、売上高299億円（前年同期比57億円・23.5%増加）、営業利益12億円（同19億円増加）となりました。

北米でレクリエーション・オフハイウェイ・ピークル「VIKING」の投入効果により販売が増加したことに加え、日本でのゴルフカー販売が増加したことにより、増収・増益となりました。

〔産業用機械・ロボット〕

産業用機械・ロボット事業全体では、売上高96億円（前年同期比35億円・58.1%増加）、営業利益18億円（同15億円・659.9%増加）となりました。

アジアを中心に設備投資需要が回復し、サーフェスマウンターの販売台数が大きく伸長したことにより、増収・増益となりました。

〔その他〕

その他の事業全体では、売上高225億円（前年同期比39億円・20.8%増加）、営業利益19億円（同9億円・86.6%増加）となりました。

電動アシスト自転車は、日本で大幅に販売が増加したことに加え、欧州へのE-Kit（電動アシスト自転車用システム）の輸出が本格化し、全体で大幅に販売台数が増加しました。

なお、各セグメントの主要な製品は以下のとおりです。

セグメント	主要な製品
二輪車	二輪車、中間部品、海外生産用部品
マリン	船外機、ウォータービークル、ボート、プール、漁船・和船
特機	四輪バギー、レクリエーション・オフハイウェイ・ビークル、ゴルフカー、スノーモビル、発電機、除雪機、汎用エンジン
産業用機械・ロボット	サーフェスマウンター、産業用ロボット、電動車イス
その他	自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプター

(参考情報)

所在地別情報（売上高には所在地間の内部売上高を含みます。）

〔日 本〕

売上高1,657億円（前年同期比220億円・15.3%増加）、営業利益116億円（同49億円・72.2%増加）となりました。

先進国向けの二輪車や船外機、アジア向けの産業用機械・ロボットの販売台数が増加し、国内では二輪車や電動アシスト自転車の販売が増加しました。

〔北 米〕

売上高754億円（前年同期比109億円・16.8%増加）、営業利益46億円（同25億円・122.0%増加）となりました。

販売台数は船外機・二輪車などで増加しました。

〔欧 州〕

売上高466億円（前年同期比105億円・29.0%増加）、営業損失0億円（前年同期：営業損失30億円）となりました。

販売台数は、二輪車・船外機などで増加しました。

〔アジア〕

売上高1,649億円（前年同期比67億円・3.9%減少）、営業利益73億円（同8億円・9.5%減少）となりました。

二輪車の販売台数は、インドなどで増加し、インドネシアでは前年並みとなりましたが、ベトナム・タイなどで減少しました。

〔その他〕

売上高406億円（前年同期比41億円・11.3%増加）、営業利益19億円（同6億円・43.0%増加）となりました。

二輪車の販売台数は、ブラジルなどで増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末比387億円増加し、1兆1,853億円となりました。流動資産は売掛金やたな卸資産の増加などにより同417億円増加し、固定資産は上場株式評価差額の減少などにより投資その他の資産が減少し同30億円減少しました。

負債合計は、短期借入金の増加などにより同357億円増加し、7,595億円となりました。

純資産合計は、四半期純利益147億円、配当金の支払い56億円やその他有価証券評価差額金の減少36億円などにより同30億円増加し、4,258億円となりました。これらの結果、自己資本比率は32.8%（前期末：33.5%）、D/Eレシオ（ネット）は0.8倍（同：0.7倍）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

税金等調整前四半期純利益227億円（前年同期：131億円）となりましたが、北米・欧州などにおける販売シーズンに向けた売上債権の増加351億円（同：269億円の増加）など運転資金の増加などにより、122億円のマイナス（同：107億円のマイナス）となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

主にインドでの生産能力増強やインドネシアなどでの新機種生産の為の設備投資137億円（前年同期：95億円）により、158億円のマイナス（同：98億円のマイナス）となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

運転資金の増加に伴い短期借入などによる資金調達を実施したことなどにより、262億円のプラス（前年同期：270億円のプラス）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間のフリー・キャッシュ・フローは280億円のマイナス（前年同期：205億円のマイナス）、現金及び現金同等物の四半期末残高は1,186億円（前期末比：14億円の減少）となりました。当第1四半期連結会計期間末の有利子負債は4,104億円（同：275億円の増加）となりました。なお、有利子負債には販売金融に関する借入金が1,716億円（同：96億円の増加）含まれています。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年2月12日の前期決算発表時に公表した予想（売上高1兆5,000億円、営業利益750億円、経常利益770億円、当期純利益450億円）を変更していません。

なお、通期の為替レート、米ドル100円（前期比2円の円安）、ユーロ135円（同5円の円安）の前提も変更していません。

2 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	119,859	118,443
受取手形及び売掛金	238,102	270,176
商品及び製品	177,796	183,801
仕掛品	45,531	45,450
原材料及び貯蔵品	48,217	48,171
その他	83,519	89,290
貸倒引当金	△9,512	△10,166
流動資産合計	703,514	745,168
固定資産		
有形固定資産	301,109	303,333
無形固定資産	6,791	6,498
投資その他の資産		
投資その他の資産	136,687	131,827
貸倒引当金	△1,510	△1,576
投資その他の資産合計	135,176	130,250
固定資産合計	443,077	440,082
資産合計	1,146,591	1,185,250
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	141,710	150,870
短期借入金	170,328	196,223
1年内返済予定の長期借入金	73,230	92,798
賞与引当金	10,277	16,269
製品保証引当金	18,292	17,102
その他の引当金	1,609	1,601
その他	99,777	100,215
流動負債合計	515,226	575,081
固定負債		
長期借入金	139,370	117,423
退職給付引当金	45,321	45,393
その他の引当金	1,358	1,273
その他	22,522	20,325
固定負債合計	208,572	184,416
負債合計	723,799	759,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	85,703	85,703
資本剰余金	74,619	74,619
利益剰余金	288,548	297,621
自己株式	△691	△692
株主資本合計	448,179	457,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,110	8,517
土地再評価差額金	10,978	10,931
為替換算調整勘定	△87,277	△87,876
その他の包括利益累計額合計	△64,188	△68,427
新株予約権	91	91
少数株主持分	38,709	36,836
純資産合計	422,792	425,752
負債純資産合計	1,146,591	1,185,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	327,576	358,692
売上原価	253,848	273,339
売上総利益	73,727	85,352
販売費及び一般管理費	59,859	63,296
営業利益	13,868	22,056
営業外収益		
受取利息	1,610	1,861
その他	3,134	2,832
営業外収益合計	4,744	4,693
営業外費用		
支払利息	1,638	2,007
為替差損	2,643	—
その他	950	1,805
営業外費用合計	5,232	3,813
経常利益	13,381	22,935
特別利益		
固定資産売却益	67	83
特別利益合計	67	83
特別損失		
固定資産売却損	17	135
固定資産処分損	278	139
その他	35	—
特別損失合計	331	275
税金等調整前四半期純利益	13,116	22,743
法人税、住民税及び事業税	6,017	7,381
法人税等調整額	△2,162	△1,041
法人税等合計	3,855	6,339
少数株主損益調整前四半期純利益	9,261	16,403
少数株主利益	1,839	1,678
四半期純利益	7,422	14,725

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,261	16,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,887	△3,588
土地再評価差額金	—	△1
為替換算調整勘定	23,149	△731
持分法適用会社に対する持分相当額	1,451	△335
その他の包括利益合計	26,488	△4,658
四半期包括利益	35,749	11,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,394	10,500
少数株主に係る四半期包括利益	4,355	1,244

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,116	22,743
減価償却費	8,354	8,767
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	188	△296
受取利息及び受取配当金	△1,613	△1,861
支払利息	1,638	2,007
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△49	52
有形及び無形固定資産処分損益 (△は益)	278	139
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,902	△35,121
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,164	△9,436
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,046	8,997
その他	2,196	△1,593
小計	△2,911	△5,600
利息及び配当金の受取額	2,173	2,659
利息の支払額	△1,878	△2,227
法人税等の支払額	△8,103	△7,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,720	△12,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△138	△79
定期預金の払戻による収入	136	26
有形及び無形固定資産の取得による支出	△9,463	△13,725
有形及び無形固定資産の売却による収入	372	1,076
その他	△700	△3,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,793	△15,822
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	32,557	32,923
長期借入れによる収入	720	5,002
長期借入金の返済による支出	△3,682	△6,003
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△1,745	△5,586
少数株主への配当金の支払額	△810	△98
その他	△60	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,978	26,166
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,185	△996
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,649	△2,870
現金及び現金同等物の期首残高	106,532	120,033
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	116,182	118,621

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

(1) 保証債務

下記の会社の金融機関借入金等に対して保証等を行っています。

前連結会計年度 (平成25年12月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)	
(関係会社)		(関係会社)	
あまがさき健康の森株式会社	222百万円	PT. Bussan Auto Finance	13,866百万円
		Yamaha Motor Pakistan Private Limited	241
		あまがさき健康の森株式会社	222
計	222		14,330

上記の金額には保証類似行為によるものが前連結会計年度222百万円、当第1四半期連結会計期間222百万円含まれています。

(2) その他

当社と海外関係会社との取引に関して二重課税防止の観点から租税条約に基づく二国間の相互協議が行われています。現時点では、この協議により生ずる可能性がある影響額を合理的に見積もることは困難であり、当該事象による影響を当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に反映していません。

2 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
受取手形割引高	1,231百万円	1,244百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	二輪車	マリン	特機	産業用機械 ・ロボット	計				
売上高									
外部顧客への売上高	219,478	59,141	24,230	6,067	308,918	18,658	327,576	—	327,576
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	6,546	6,546	△6,546	—
計	219,478	59,141	24,230	6,067	308,918	25,204	334,122	△6,546	327,576
セグメント利益 又は損失(△) (注)2	2,970	10,311	△686	230	12,826	1,042	13,868	0	13,868

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプターに係る事業を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	二輪車	マリン	特機	産業用機械 ・ロボット	計				
売上高									
外部顧客への売上高	225,512	71,120	29,924	9,589	336,147	22,544	358,692	—	358,692
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	7,304	7,304	△7,304	—
計	225,512	71,120	29,924	9,589	336,147	29,849	365,996	△7,304	358,692
セグメント利益 (注)2	3,785	13,369	1,203	1,752	20,111	1,945	22,056	0	22,056

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプターに係る事業を含んでいます。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

(参考情報)

所在地別情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
外部顧客への 売上高	48,625	55,937	34,977	151,981	36,053	327,576	—	327,576
所在地間の 内部売上高又は 振替高	95,069	8,648	1,165	19,580	422	124,886	△124,886	—
計	143,694	64,585	36,143	171,562	36,476	452,462	△124,886	327,576
営業利益又は 営業損失(△)	6,745	2,055	△2,985	8,083	1,320	15,219	△1,350	13,868

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… オランダ、フランス、イタリア、ロシア、スウェーデン

(3) アジア …… インドネシア、ベトナム、台湾、タイ、中国、シンガポール、インド

(4) その他 …… ブラジル、オーストラリア、コロンビア、アルゼンチン

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
外部顧客への 売上高	65,710	66,718	44,974	141,523	39,764	358,692	—	358,692
所在地間の 内部売上高又は 振替高	100,020	8,727	1,650	23,379	834	134,612	△134,612	—
計	165,731	75,445	46,625	164,903	40,599	493,304	△134,612	358,692
営業利益又は 営業損失(△)	11,615	4,562	△10	7,314	1,888	25,370	△3,314	22,056

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… オランダ、フランス、ロシア、イタリア、スウェーデン

(3) アジア …… インドネシア、ベトナム、台湾、中国、シンガポール、タイ、インド

(4) その他 …… ブラジル、オーストラリア、コロンビア、アルゼンチン